

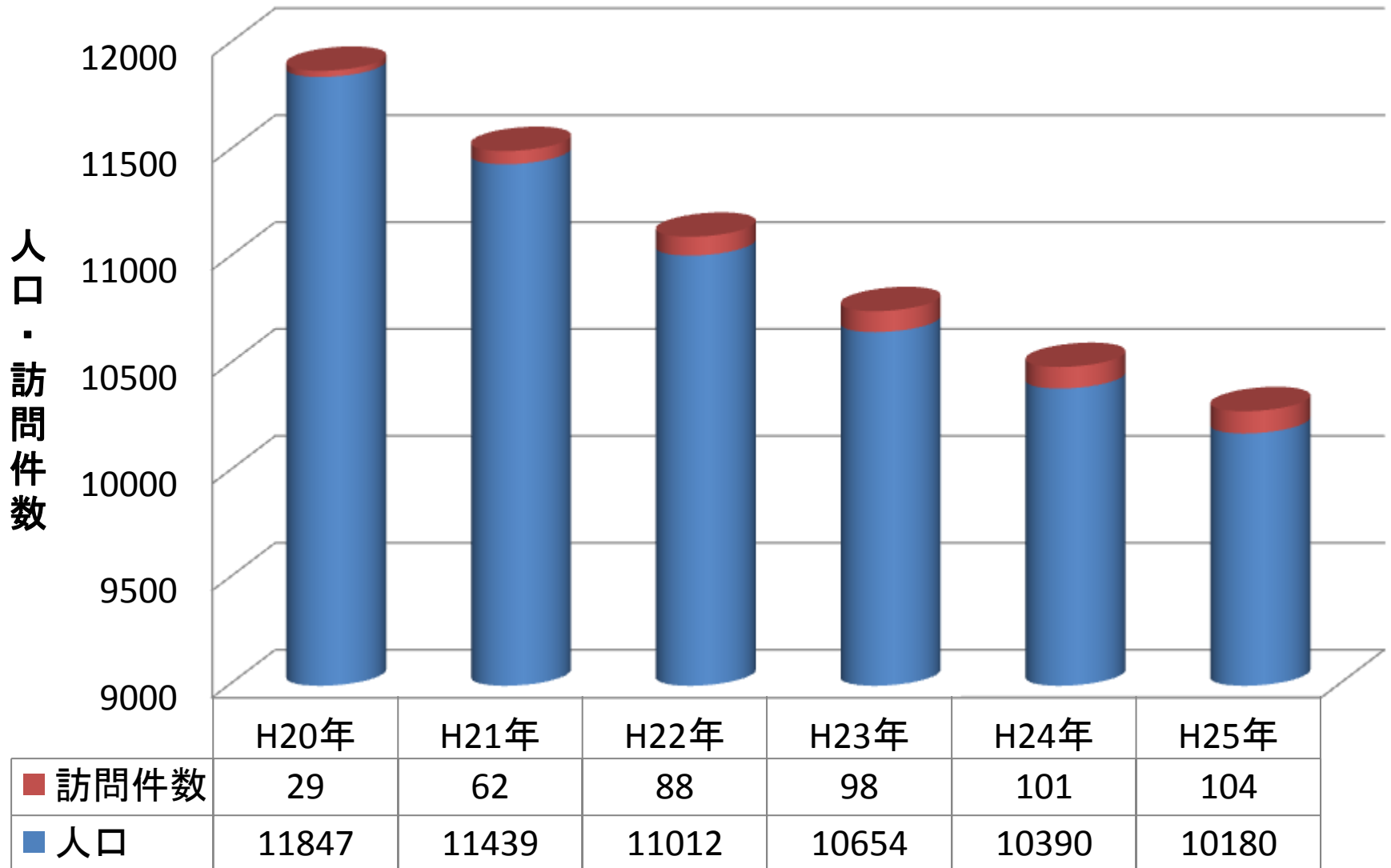
在宅医療を継続するために

夕張市立診療所の取り組み

在宅医療拠点事業所

夕張市立診療所 横田久美子

夕張市の人口と在宅件数の移行



拠点事業開始時の問題点

- 在宅医療への関心が低い
 - 「最後は病院で」という思いが強い地域
- 行政・医師会との信頼関係が薄い
 - 公設民営の「公」に対する安心感だけを求められる
- 医療、介護、福祉の連携が不十分
 - 一度、連携が断ち切られた

拠点事業所としての活動

- 多職種での連携→1回/週 在宅ケアカンファ
- 合同会議でのケアマネ研修
- ICTツール導入～サイボウズLive～
- 市民フォーラム
- 診療所ニュースの作成
- 施設における「看取り」の取り組み
- 出張「暮らしの保健室」
- 災害時の協力体制構築
- 民生委員に対する研修

合同会議



在宅ケアカンファ

市民フォーラム





出張 「暮らしの保健室」

ICTツールの導入

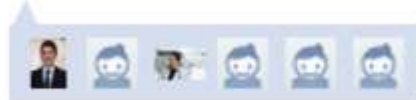
- 実際の画面、PC・携帯端末から投稿・閲覧



★ 15: 小島 多加志 2012/10/30(火) 18:59

自宅において毎晩、養命酒(アルコール度14%)を1カップ摂取していることが判明致しました。マイスリー5mgとの併用にてふらつきが発生している可能性があります。本人不眠を訴えていますが飲み込み忘れもあることから眠剤に頼らずに入眠できるよう三上さんと相談の上、眠剤は頓用と致しました。カレンダーに充填せず不眠があった場合は、介護の三上さんか訪看さんに伝えるよう指示致しました。今後眠剤をプラセボに変更するのも良いかもしれません。

いいね！を取り消す - 返信する



★ 14: 横田 久美子 2012/10/19(金) 8:24

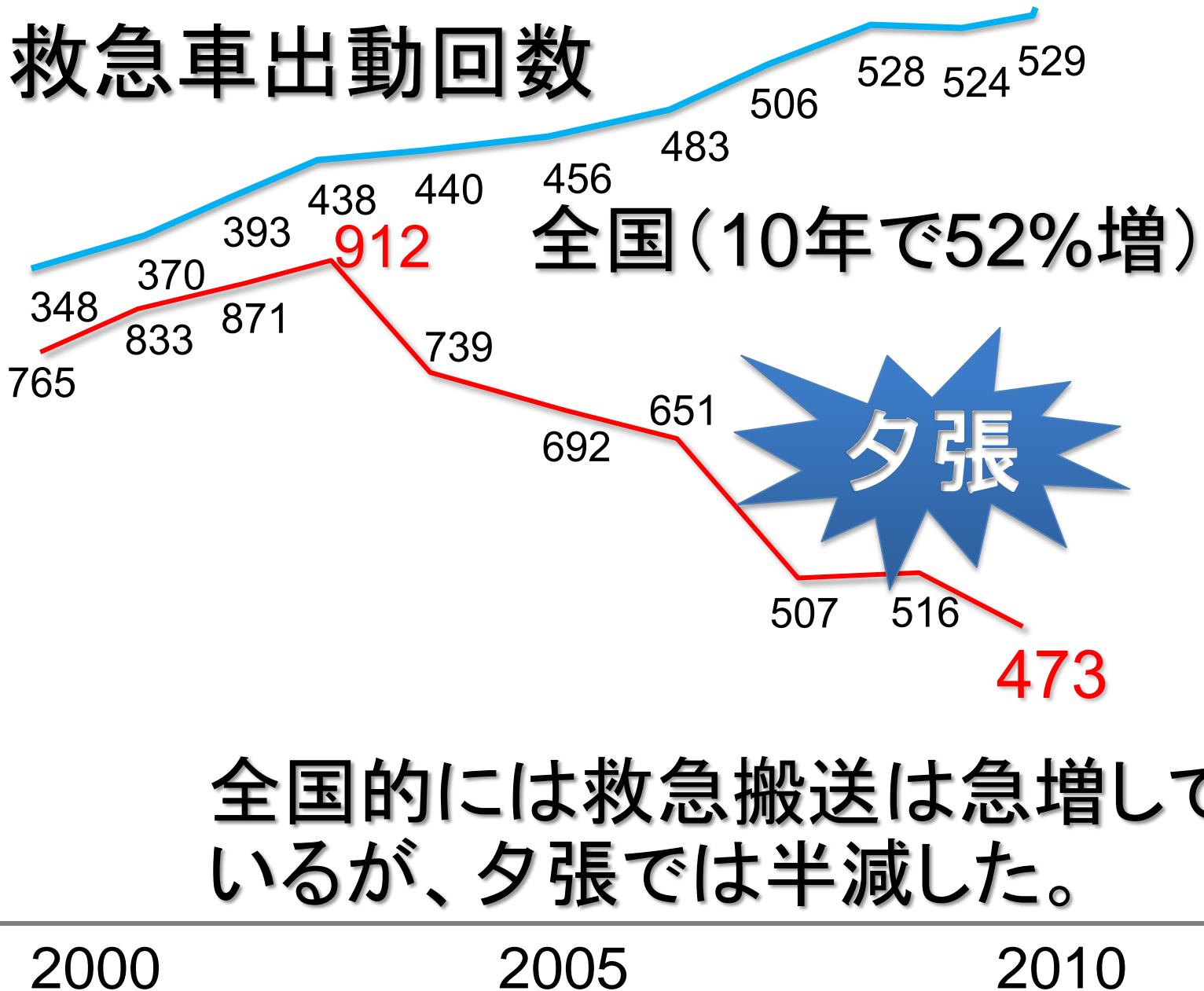
[>13](#) への返信

本日午後から訪問の予定になっています。昨日訪問しましたが、部屋の中が危険防止のレイアウトに変わっていました。
美味しそうにマグロのお刺身を召し上がっていました。

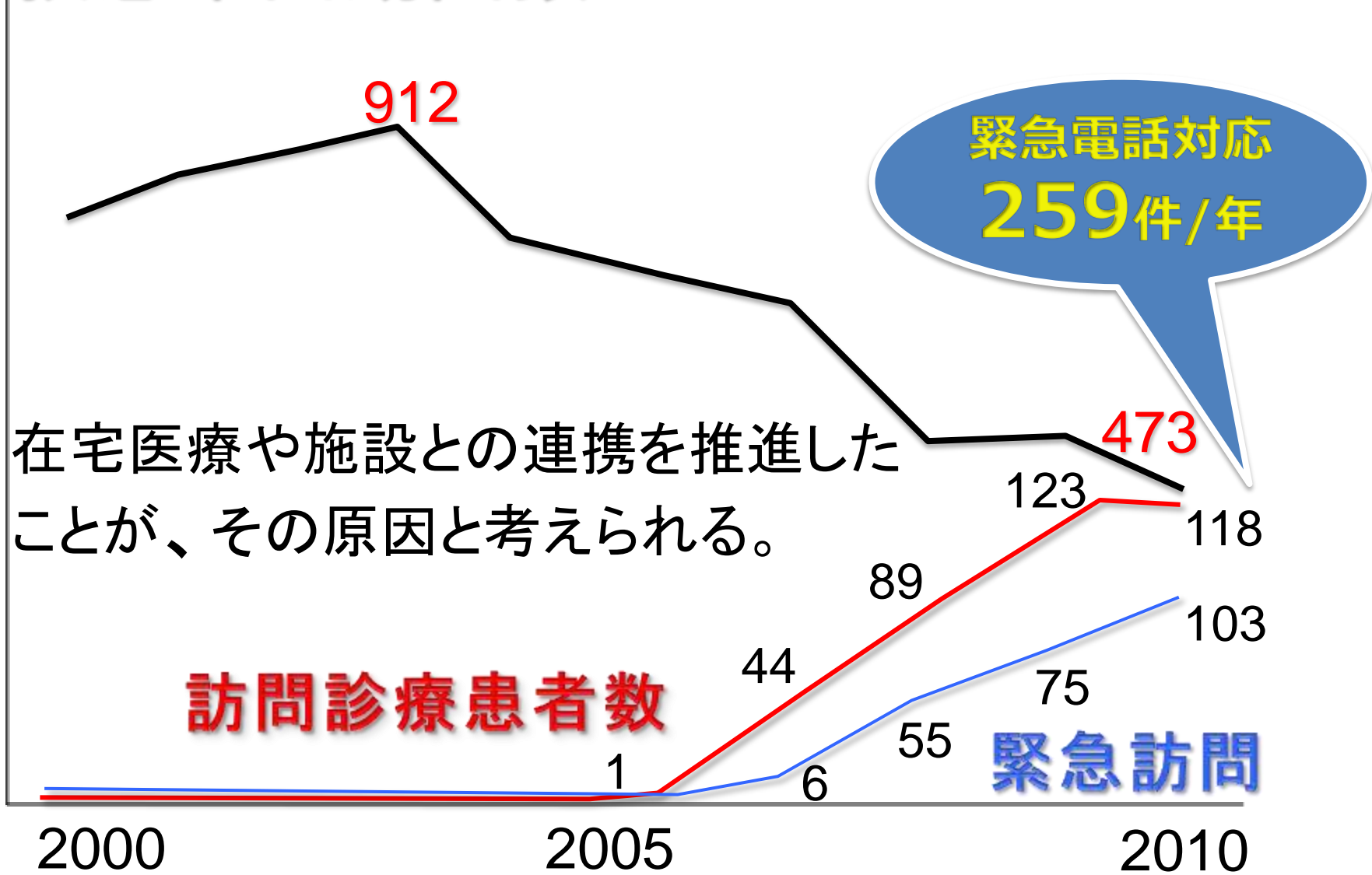
いいね！を取り消す - 返信する

会話を表示する 固定リンク

救急車出動回数



救急車出動回数



結果

- 顔が見える連携の場が多くなった
- 連携会議の出席者が多くなった
- 行政との連携がとりやすくなった
- 住民との交流の機会が多くなった
- ICTの導入により、情報共有が進んだ

効果

- 多職種・多事業所での連携が進んだ
- 看護・介護する側、受ける側の安心感の向上

これからの課題

- 在宅患者は増加したが、在宅死が少ない
- 市外の病院から市内の在宅へ戻ってくる例がまだまだ少ない
- 施設への依存が高いため、独居の高齢者を支える体制が不十分
- 在宅で最期まで生活できることの市民への周知不足